

2019年（令和元年）5月14日

飲食店や企業が連携し、「食」の魅力を発信 「横浜駅西口インバウンドプロジェクト」が始動！

株式会社相鉄ビルマネジメント
一般社団法人横浜西口エリアマネジメント

相鉄グループの(株)相鉄ビルマネジメント（本社・横浜市西区、社長・千原広司）、と（一社）横浜西口エリアマネジメント（所在地・横浜市西区、代表理事・千原広司）では、2019年5月15日（水）から、横浜駅西口エリアを訪れる外国人のお客さまへのサービス向上を目的に、「横浜駅西口インバウンドプロジェクト」を開始します。

これは、本年および2020年に神奈川県内で国際的なスポーツイベントが開催されることから、多くの外国人のお客さまが横浜駅西口エリアに訪れることが予想されるため、旅の醍醐味である「食」のサービス向上に向け、横浜駅西口エリアの飲食店や企業が連携して当プロジェクトを行うものです。

主な実施内容

- (1) 相鉄ジョイナス・高島屋横浜店・横浜モアーズ内の飲食店および横浜駅西口エリアの飲食店約100店舗で多言語対応のチャット型のAI（人工知能）レストランメニュー「Satisfood」を導入
- (2) 食の多様性に対応するために横浜駅西口エリアの飲食店数店とビーガン対応メニューを開発・提供
- (3) 外国人のお客さまにとって満足度が高く、便利にご利用いただける横浜駅西口の飲食店舗が掲載された英語表記マップを発行

なお、「Satisfood」は、相鉄グループと(株)高島屋（本社・大阪市中央区、社長・村田善郎）が取り組んでいる「アクセラレーションプログラム※1」（第2期）で優秀賞を受賞した(株)Super Duper（本社・東京都港区、社長・鈴木知行）が提供するサービスで、外国人のお客さまがスマートフォンでQRコードを読み取るとお客さまの使う言語に合わせて多言語表示され、最適なお料理を提案します。こだわりメニューや料理に合うお酒を提案する他、ベジタリアン・ビーガンなど多様化する食文化にも対応した情報も発信します。

概要は別紙のとおりです。



チャット型のAIレストランメニュー「Satisfood」使用例（イメージ）

「横浜駅西口インバウンドプロジェクト」の概要

1. 実施場所

横浜駅西口エリア

2. 実施内容

横浜駅西口エリアの飲食店や企業が連携し、外国人のお客さまに日本の食文化を楽しんでいただき、いつでも安心して訪れることができる街づくりに取り組むとともに、街の活性化やにぎわいづくりを目指します。

①チャット型のAIレストランメニュー「Satisfood」の導入

外国人のお客さまが自身のスマートフォンでQRコードを読み取ると、こだわりメニューや料理に合うお酒の提案などを多言語〔英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語〕で行います。毎日のお食事を日本の食文化体験の機会とすることで満足度をアップし、口コミを介して横浜駅西口エリアの食体験を世界中に発信していきます。

・導入場所および導入日（予定）

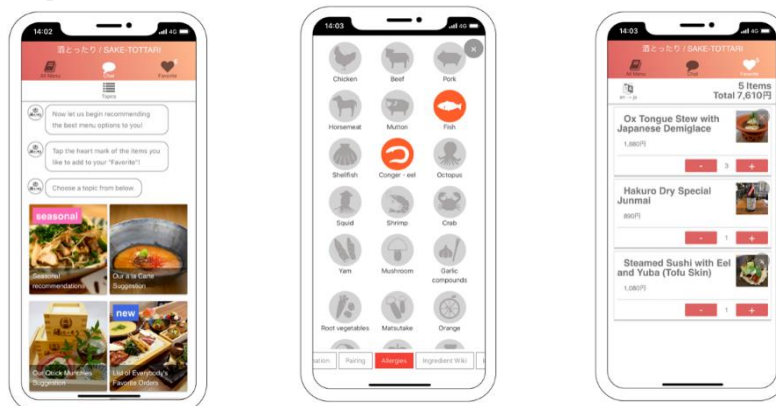
相鉄ジョイナス：2019年5月15日から約10店舗（「神座飲茶楼」「築地すしころ」「阿夫利」などで導入（今後約55店舗に順次導入予定）

高島屋横浜店：5月15日から一部店舗にて試験的に導入

その他、横浜モアーズ、横浜駅西口周辺エリアの飲食店で導入予定

・サービス提供会社

(株)Super Duper



多様な食文化などにも対応「Satisfood」の表示画面（イメージ）

②ビーガンメニューの共同開発

肉や魚を食べない一般的なベジタリアンの他、卵・乳製品・はちみつをも口にしないビーガンの方にも日本の食文化を楽しんでいただくために、本年および2020年に神奈川県内で国際的なスポーツイベントが開催されることに合わせて横浜駅西口エリアの飲食店やビーガン食材を扱うメーカー〔(株)SEE THE SUN〕（本社・神奈川県三浦郡、社長・金丸美樹）が協力してメニューの共同開発を行います。



牛乳を使わずに発酵豆乳から作った代用チーズのビーガンメニュー（イメージ）

③横浜駅西口の飲食に特化した英語表記マップの発行

「S a t i s f o o d」やビーガンメニューに対応する横浜駅西口エリアの飲食店を中心に、外国人のお客さまの満足度の向上につなげるマップを発行予定。外国人の方にとって「便利」に、また「満足度の高い」情報を発信し、来訪時の横浜駅西口への誘客を図り、周辺のホテルや観光案内所などで配布を予定。

なお、このマップと合わせて外国人観光客に便利に使っていただけるオンラインマップサービス「ストローリー」を導入します。「ストローリー」は、位置情報と連動したオンラインマップのプラットフォームです。エリアの魅力を伝えるアナログ地図をオンラインで運用することができ、効果的にエリアの情報を発信します。

・導入日

2019年9月予定（英語表記マップ発行、「ストローリー」導入共に）

・サービス提供会社

(株) ^{ストローリー}Strolly（本社・京都市下京区、社長・高橋真知）



ストローリー使用例（イメージ）

3. お問い合わせ

- ・本プロジェクト全般に関するお問い合わせ
一般社団法人横浜西口エリアマネジメント
045-326-3024（平日9:30~17:30）

- ・「S a t i s f o o d」に関するお問い合わせ
(株)Super Duper
03-5422-9887



横浜西口エリアマネジメント
公式ウェブサイト

【(一社)横浜西口エリアマネジメント】



2014年6月に誕生した横浜西口元気プロジェクト実行委員会に代わり、横浜駅西口エリアの次世代のまちづくりを目的に、2017年4月3日に設立。地権者・商業者・就業者・来街者・居住者といったさまざまな関係者が協働してイベントやワークショップなどの企画運営、横浜駅西口の情報発信やプロモーション、防犯や環境美化などに取り組んでいます。

ウェブサイト <https://www.yokohamanishiguchi.or.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/FPyokohamanishiguchi>



ウェブサイト フェイスブック

※1 アクセラレーションプログラム

創業間もない企業に対して、事業を成長させるための支援を行うプログラム。このプログラムを利用して、横浜駅西口や相鉄グループなどにおける新たな商品やサービスを生み出すことを目的としています。